日本共産党

4月9日川崎市議選

高津区の市会は

あなたの一票を

むねた裕之

2015年の初当選以来、住民の方々の願いを届け、相談件数は800件を超えました。「今日、食べるものがない」「今すぐ来てほしい」などの声に駆け付けて相談をうけ、河川や道路の問題では、有志の方たちと運動を立ち上げ、一緒に議会や行政と交渉するなど、地域の要望を議会に届けてきました。

議会では、市の財政を分析して、政令市でトップの財源を持っていること。

財政が豊かなのに、市民の福祉くらしの予算は少なく、臨海部の大規模事業には湯水のようにお金を使っていることなどを明らかにしてきました。

これからもみなさんの声を議会に届けるために引き続き議会へ送って下さい。

宗田 ひろゆき

プロフィール

1958年北海道厚真町生まれ。函館ラ・サール高校、東京工業大学、アメリカ・ホープ大学卒業。コンピューター会社でシステムエンジニアとして働く。現在市議2期、議会運営委員会委員、総務委員会委員。市議団団長

政令市トップの財政力を

子育て・福祉・くらし・営業に

公式LINE

むねた裕之 検索

HP http://muneta-hiroyuki.jp/

証紙

頒布責任者／菊地　清　川崎市高津区蟹ケ谷 3-25　印刷者／㈱神奈川機関紙印刷所　横浜市金沢区福浦 2－1－12

むねた裕之は市政を前に動かします!!

共産党の11議席で
市民の願い 実現しました

子育て・福祉・優先の市政へ

- 18歳まで医療費無料に
  全国では約半数の自治体がすでに実施
- 学校給食費を無料に
  東京23区の1/2が実施予定

- 給付型大学奨学金の創設
- 高すぎる国保料の引き下げ
  こどもの均等割なくし、1世帯年額1万円減額
- 特養ホームの待機者ゼロ、介護保険料の減額を
- 高齢者の補聴器費用の助成制度創設

- 市営住宅の増設、若者に家賃補助制度を
  当面、月1万円補助
- 中小企業に市独自の直接支援を
- 水害、地震対策の推進
- 地球温暖化対策、脱炭素化を推進し、経済・雇用活性化を

こどもの医療費
中学卒業まで拡充が実現！

2022年9月議会で、市長が拡充を約束。これまで40万筆以上の市民団体の署名が寄せられ、市議団が議会で述べ115回の質問を続けた成果です。9月から実施の予定ですが、1回500円の一部負担金は、そのままです。川崎市で18歳まで一部負担金を撤廃して医療費無料にするよう、さらに拡充をめざします。

- 産後ケア事業の拡充
- 認可保育園の増設
- 学校に事務支援員・障害者就業員の配置が実現
- 学校トイレの快適化が全校終了 など

市民の命、暮らしを守る

- 新型コロナ対策の要望書を第15次（2020年から2022年）まで市長に提出
- 学校の各教室にCO_2モニター設置が実現
- 発熱外来が全行政区の休日急患診療所に拡大
- 台風19号（2019年）の被災者支援策30万円給付など実現
- 駅のホームドア設置実現、開かずの踏切対策 など

財源はあります

市税収入は2年連続過去最大
財政力は政令市トップ

- 市のためこみ金（減債基金）2,529億円（2021年度末）
- 臨港道路1,475億円など不要不急の大規模事業の見直し

市民の願いに対する各党の態度は… 他党とここが違う！

川崎市議会で、国の意見書、請願への主要会派の態度

2020年度以降の定例議会から抜粋（○賛成 ×反対）	共産	自民	公明	みらい	無所属
選択的夫婦別姓制度の早期実現を求める意見書（2020年12月）	○	×	×	×	2名○
核兵器禁止条約の署名を求める意見書（2021年3月）	○	×	×	×	1名○
高齢者の医療費窓口2割負担廃止を求める意見書（2021年10月）	○	×	×	×	×
インボイス制度の実施中止を求める意見書（2022年3月）	○	×	×	×	×
川崎市独自の少人数学級推進を求める請願（2022年3月）	○	×	×	×	×
小児医療費助成制度の拡充を求める請願（2023年3月）	○	×	×	×	1名○
学校給食費の無料化を求める請願（2023年3月）	○	×	×	×	1名○

2022年12月議会では**「旧統一教会による被害の救済・防止及び政治との癒着の一掃を求める国への意見書」**を提案しましたが、他会派はすべて反対

共産党	自民党	公明党	みらい	無所属全員
○	×	×	×	×

大軍拡ノー

いま必要なのは対話の外交です

→敵基地攻撃とは全面戦争への道
→憲法9条を守り 平和なアジアへ

日本共産党の むねた裕之 候補へ一票をお寄せ下さい